

オーストラリアで国際交流

常陸大宮市では、将来を担う子どもたちに「語学力の向上を図る」「国際相互理解を深める」「視野を広め、豊かな人材育成を目指す」という目的で中学生海外研修を実施しています。

今回参加した市内の中学3年生69人と引率者8人の77人の団員は、8月14日に日本を発ち21日までの8日間、オーストラリアでのホームステイやハイスクールでの交流を行いました。

<研修内容>

- ①事前研修・結団式 4回
(各自及びグループ別テーマの設定と事前調査、英会話練習など)
- ②自然・異文化学習
- ③4つのハイスクールでの交流学习
 - A班 ヒースコート・ハイスクール
 - B班 ポートハッキング・ハイスクール
 - C班 エンガディン・ハイスクール
 - D班 ジャナリ・ハイスクール
- ④ホームステイ(4泊)
- ⑤事後研修 2回
- ⑥報告会(8月28日)



▲ハイスクールでの交流学习



研修者の感想から

○僕が話したことを、相手は必死に理解しようとしてくれたことが印象深い。ただ自分自分の伝えたいことが表現できるようになったこともうれしかった。これからもっと英語で話せるようにして、外国の人たちとコミュニケーションをとりたい。

○英語は十分ではないが、伝えようという思いがあれば、伝わるということを実感し、自信がついた。今度は一人でも外国へ行けるのではないかと思うし、ぜひ行ってみたい。

○オーストラリアの中・高校生は人に流されず、自分の考えをしっかりもっているところが印象に残った。皆フレンドリーで、パティ以外の人たちとも仲良くなれてよかった。この研修に参加し、ホームステイを体験できてよかった。

○研修者同士、たくさんの方と出会えた。このメンバーでいつまでも一緒にいたいと思った。大人になつてから、またこの研修者でオーストラリアに行ってみよう。

○集団行動やホストファミリーとの生活の中で、時間の大切さなどにも気がつくかったので、今後の生活に生かしていきたい。

◆研修の成果◆

- 1 各自の研修テーマやグループの研修テーマを設定し、目的をもって研修に取り組むことができた。
- 2 オーストラリアの文化、生活、自然に触れることにより、国際相互理解を深め、改めて日本のよさを認識することができた。
- 3 積極的に自分の思いを伝えようとする姿が見られ、英会話やオーストラリアに対する興味関心が深まった。
- 4 事前・事後、8日間の研修を通して、研修者同士の交流が深まり、中学校間の融和が図られた。



日本文化の紹介と体験